

株式会社シード

2026年3月期第2四半期 連結決算説明会

2025年11月25日
(証券コード:7743)

まだみぬ、世界は、美しい



目次

1. 2026年3月期第2四半期 決算概要
2. 2026年3月期第2四半期 トピックス
3. 参考資料

目次

1. 2026年3月期第2四半期 決算概要
2. 2026年3月期第2四半期 トピックス
3. 参考資料

2026年3月期第2四半期 サマリー(連結)

売上高

17,144百万円

前年同期比 +1.9%

- ・乱視用レンズの納期遅延が発生していたが、2025年5月に全て正常化
- ・海外向け商品について納期遅延の影響が残存

売上総利益

7,716百万円

前年同期比 +5.7%

- ・歩留まり改善による原価低減と7月からの値上げにより、利益率が改善
- ・前期第2四半期は生産トラブルが発生し、製造原価の高騰が原因で原価率が上昇

営業利益

1,132百万円

前年同期比 +29.4%

- ・売上増加と売上総利益率(粗利率)向上により売上総利益が増加したことが影響
- ・人員増加やベースアップを行ったことにより人件費が増加。また、CM投下等により広告宣伝費も増加

国内外のコンタクトレンズ市場状況

- 近視の低年齢化による近視人口の増加やユーザーの年齢層拡大に伴い、装用人口が増加
- 乱視用や遠近両用といったスペシャリティレンズの需要拡大により、一人当たりの購入価格が上昇し、市場は引き続き拡大
- 海外においては中国は景気後退による停滞があるものの、東南アジアやインド等、経済成長が期待される国や地域での中長期的な成長が見込まれる

2026年3月期第2四半期 連結決算ハイライト

連結

[百万円]
百万円未満切捨て

	2024/3期 2Q	2025/3期 2Q	2026/3期 2Q	前年同期 増減額	前年同期比	2026/3期 通期見通し	進捗率
売上高	15,947	16,828	17,144	+315	+1.9%	37,000	46.3%
売上総利益	7,133	7,303	7,716	+413	+5.7%	—	—
(売上総利益率 ／粗利率)	(44.7%)	(43.4%)	(45.0%)	—	(+1.6%)	—	—
営業利益	1,307	874	1,132	+257	+29.4%	2,000	56.6%
(営業利益率)	(8.2%)	(5.2%)	(6.6%)	—	(+1.4%)	(5.4%)	—
経常利益	1,367	764	1,124	+359	+47.1%	1,600	70.3%
親会社株主に帰属する 中間純利益	826	548	831	+282	+51.6%	1,100	75.6%

事業別売上高

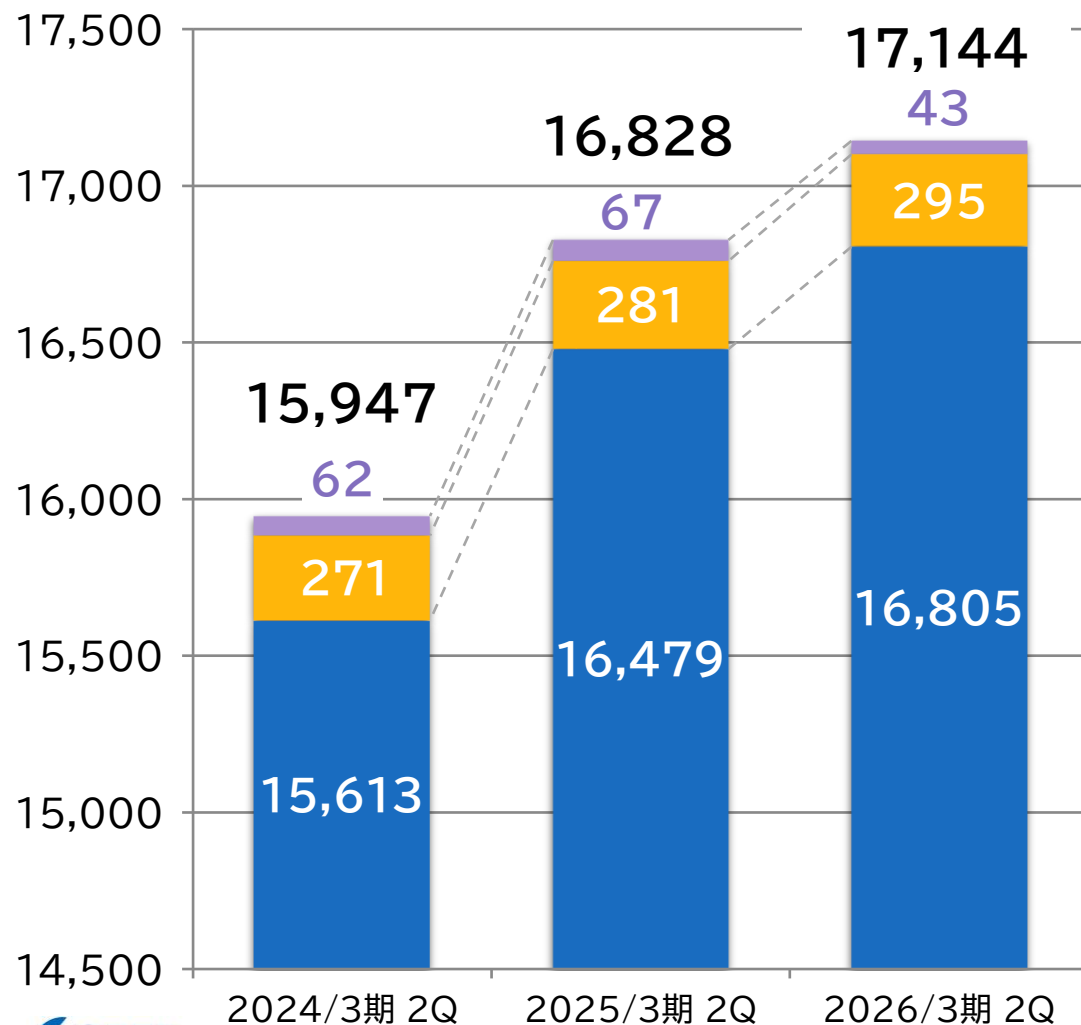
連結

※コンタクトレンズ:光学器械含む ※その他:眼内レンズ・眼鏡事業含む

[百万円]

百万円未満切捨て

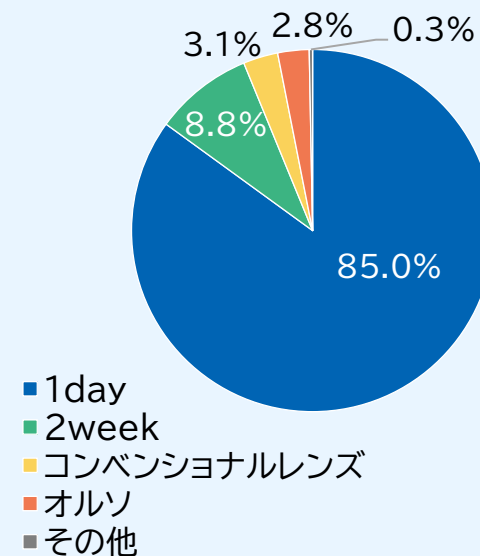
■コンタクトレンズ ■ケア用品 ■その他



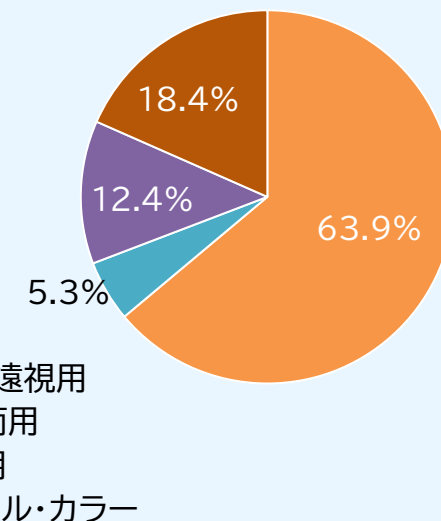
© SEED Co., Ltd. All Rights Reserved.

単体

売上高CLカテゴリー比率



売上高1dayカテゴリー比率



商品別対前年同期比(単体卸売ベース)

ワンデーピュア	3.5%増	2ウィークピュア	0.1%減
エアグレード	47.8%増	サークル・カラー	1.4%減

カテゴリー別対前年同期比(単体卸売ベース)

乱視用	5.7%増	遠近両用	11.5%増
-----	-------	------	--------

※2024年2Qより乱視用において納期遅延が発生→2025年5月28日をもって全て解消

※エアグレードは1dayと2weekの合計

※乱視用・遠近両用は使い捨てとコンベンショナル(東レ製品は除く)、カラー・サークルレンズ合計

販管費の状況

連結

[百万円]

百万円未満切捨て

2025年3月期中間期
販管費実績

人件費

2,101

+170
(108%)

広告
宣伝費

462

+103
(122%)

研究
開発費

1,079

△65
(94%)

物流
関連費

1,034

+4
(100%)

その他

1,750

△55
(97%)

6,428

+156
(102%)

2026年3月期中間期
販管費実績

2,271

565

1,014

1,038

1,695

6,584

- 人件費 : 人員増加・処遇改善により、前年同期比で増加
- 広告宣伝費: 国内のキャンペーン・イベントなどの広告活動の活性化や2025年3月期下期より本格的に活動を開始したコーポレートブランディング浸透に係る費用のため前年同期比で増加
- 研究開発費: スマートコンタクトレンズ開発費用、シリコンハイドロゲルレンズをはじめとした複数の治験を進行、DDSレンズの治験費用支払いの期ズレにより前年同期比で減少
- 物流関連費: 売上増に伴う配送個数の増加はあったが、国内の注文・発送形態の見直しおよび、海外発送の効率化等により前年同期比でほぼ横ばい
- その他 : 2025年3月期第1四半期に一過性の費用として、本社移転に伴う費用/インフラ整備費用が発生していたが、当期は発生しないため減少

利益増減分析

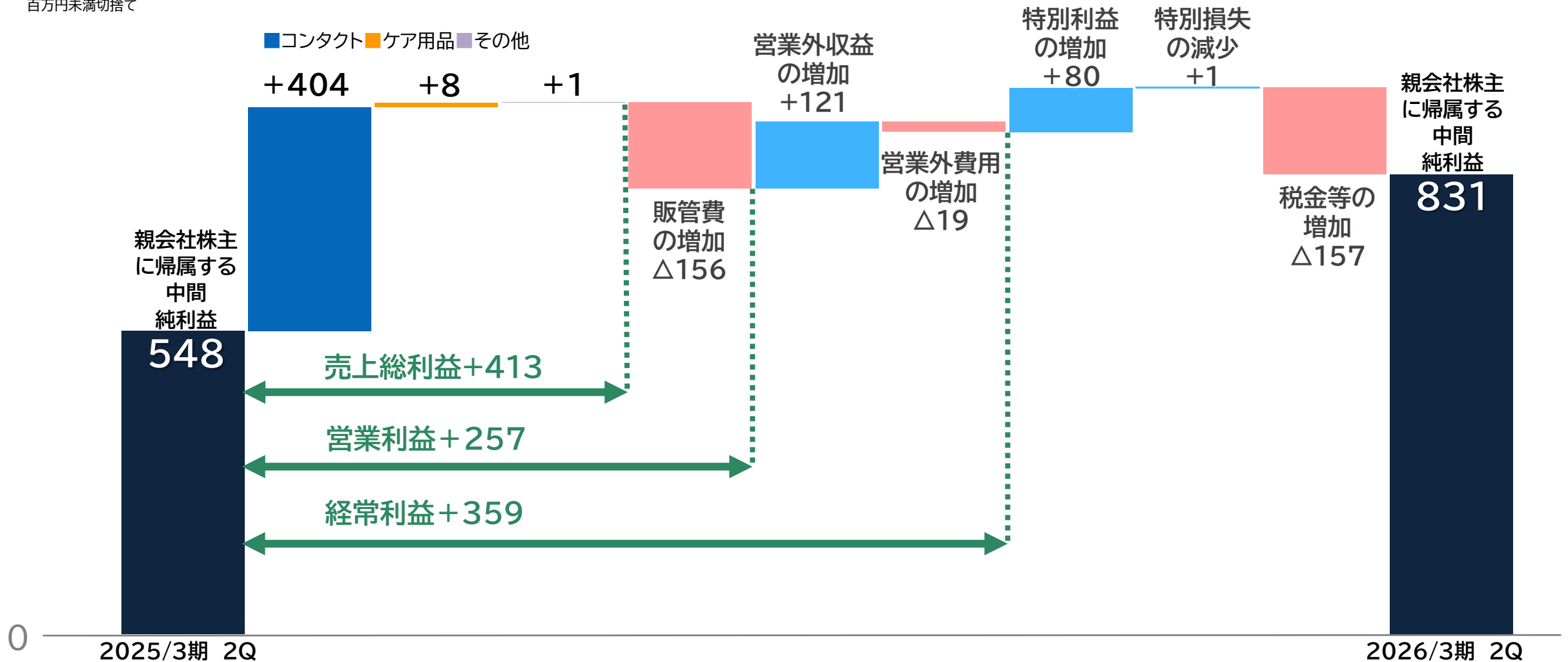
連結

[百万円]

百万円未満切捨て

※コンタクトレンズ:光学器械含む
※その他:眼内レンズ・眼鏡事業含む

■コンタクト ■ケア用品 ■その他



財務状況推移

連結

〔百万円〕

百万円未満切捨て

	2025/3月末		2026/3月末 2Q		前期比較
	金額	構成比	金額	構成比	
資産の部計	51,760	100.0	52,321	100.0	+560
流動資産	20,677	39.9	20,814	39.8	+137
内 現預金	7,116	13.7	5,909	11.3	△ 1,207
商品及び製品	5,588	10.8	6,553	12.5	+964
貸倒引当金	△ 26	△ 0.1	△ 37	△ 0.1	△ 11
固定資産	31,083	60.1	31,507	60.2	+423
内 有形固定資産	27,827	53.8	27,743	53.0	△ 83
無形固定資産	923	1.8	1,611	3.1	+687
負債の部計	33,375	64.5	33,543	64.1	+167
流動負債	18,139	35.0	19,130	36.6	+991
内 短期借入金	12,288	23.7	12,351	23.6	+62
短期リース債務	1,852	3.6	1,818	3.5	△ 33
固定負債	15,236	29.4	14,412	27.5	△ 824
内 長期借入金	6,799	13.1	5,996	11.5	△ 803
長期リース債務	5,322	10.3	5,378	10.3	+55
純資産の部計	18,385	35.5	18,778	35.9	+393
負債・純資産計	51,760	100.0	52,321	100.0	+560

Scotlens Holdings Limited
買収資金・4号棟手付金支払い

在庫状況の改善

Scotlens Holdings Limited
(英国)の株式取得や
上海幻櫻商貿有限公司(中国)の
出資比率の変更に伴い
新たな連結対象となる
のれん計上(+700百万円)

当期純利益の増加により
利益剰余金が増加

キャッシュ・フロー | 主要項目

連結

〔百万円〕

百万円未満切捨て

	2025/3期 2Q	2026/3期 2Q	前期比較
営業活動によるC・F	1,750	1,760	+9
内 税金等調整前中間期純利益	763	1,205	+442
減価償却費	1,606	1,526	△ 79
棚卸資産の増減額(△は増加)	136	△ 773	△ 910
投資活動によるC・F	△ 3,257	△ 1,016	+2,240
有形固定資産取得	△ 3,452	△ 496	+2,956
無形固定資産の取得	△ 17	△ 21	△ 3
財務活動によるC・F	△ 175	△ 2,108	△ 1,933
内 短期借入金の純増減額	△ 1,050	0	+1,050
長期借入金の返済	△ 1,169	△ 924	+245
リース債務の返済による支出	△ 651	△ 730	△ 78
現金及び現金同等物 中間期末残高	8,153	5,848	△ 2,305

2号棟別館稼働もあり
在庫状況が改善

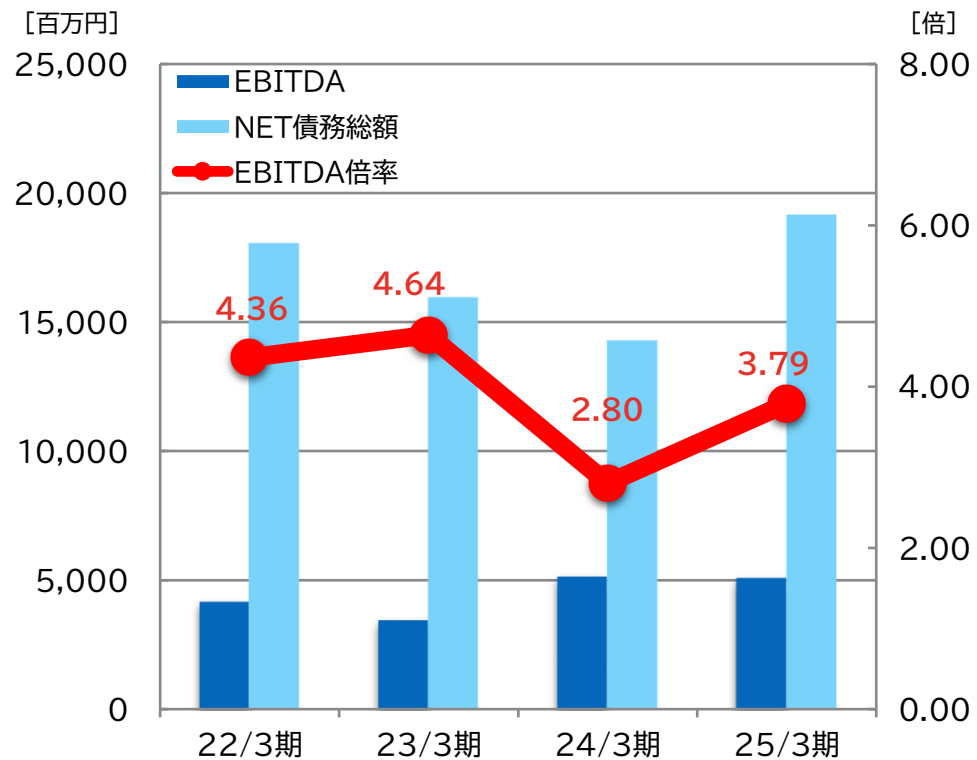
Scotlens Holdings Limited
(英国)の株式取得(452百万円)

鴻巣研究所の新規製造設備増設
・本社新社屋建設

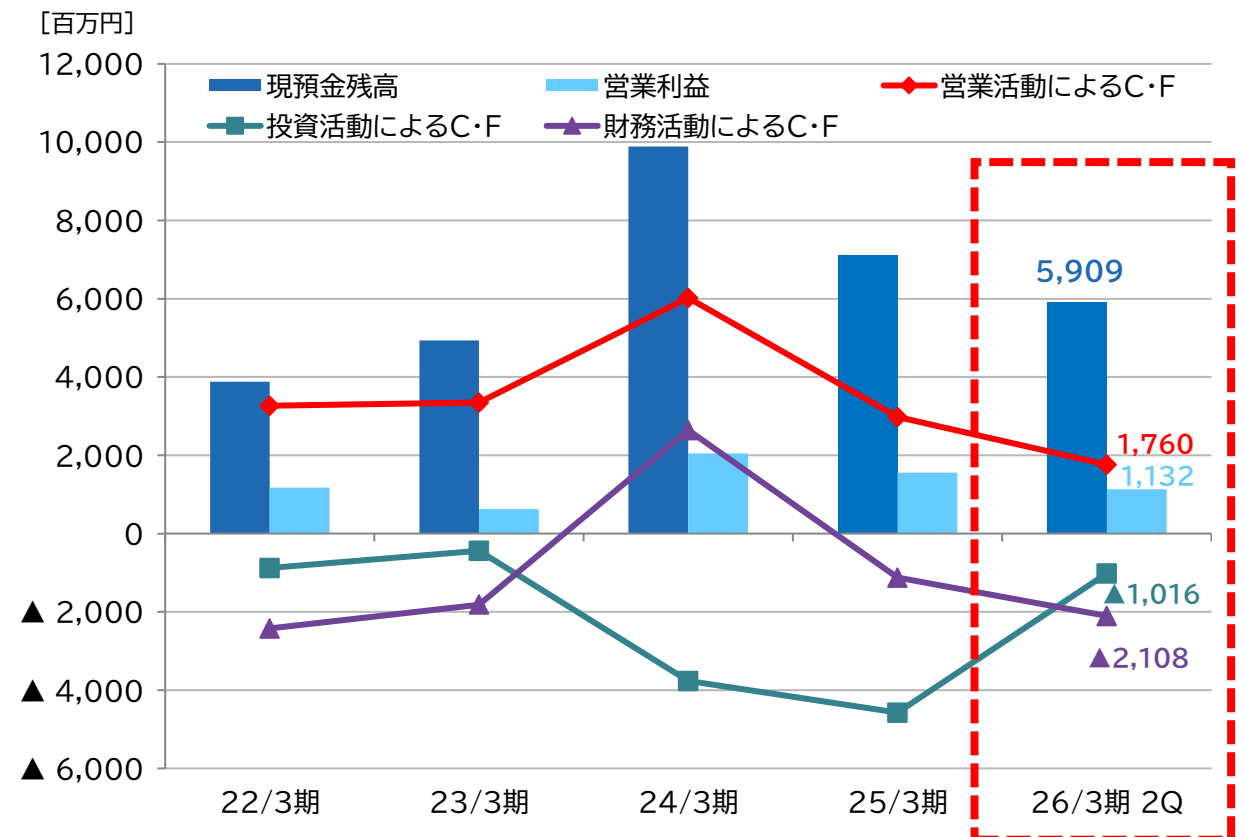
キャッシュ・フロー：関連指標推移

連結 [百万円] 百万円未満切捨て

	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2025/3期 2Q	2026/3期 2Q
EBITDA	4,140	3,438	5,102	5,055	2,553	2,885
EBITDAマージン EBITDA÷売上高	14.4%	11.2%	15.8%	15.2%	15.2%	16.8%



◇EBITDA=経常利益+減価償却費+のれん償却+支払利息
◇NET債務総額=有利子負債+リース債務-現預金

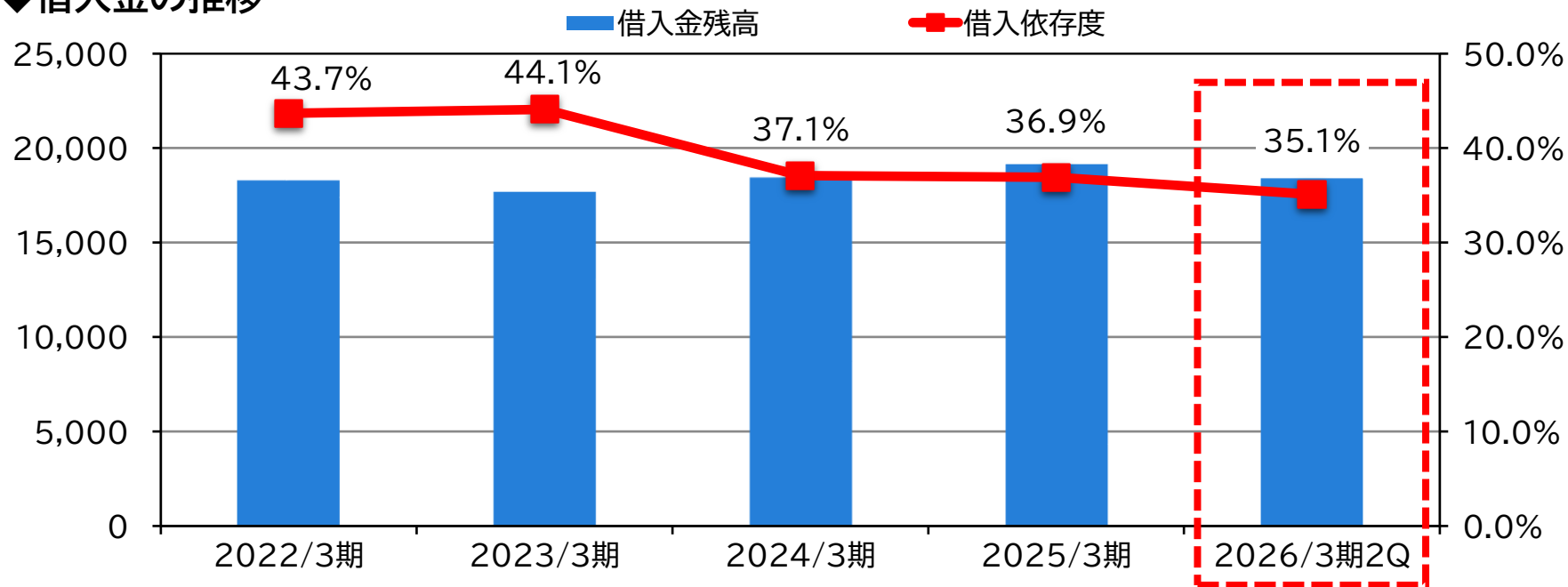


財務・株価指標 | 推移

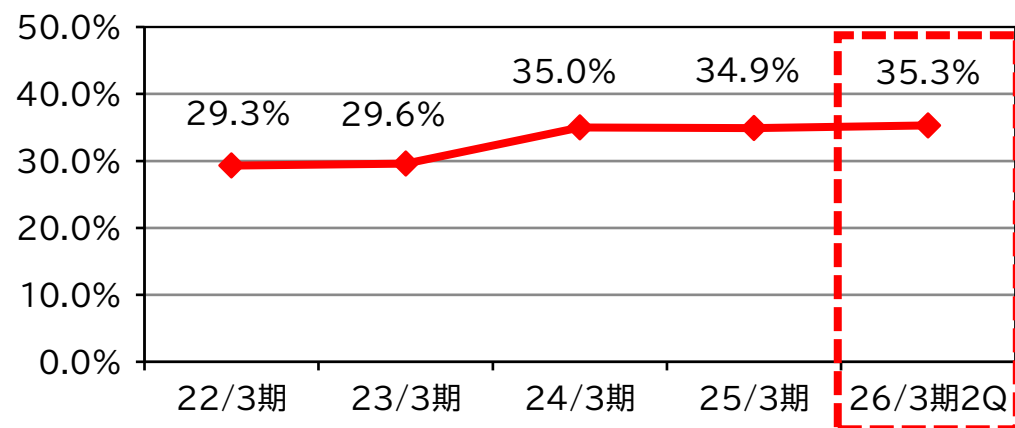
連結

[百万円]

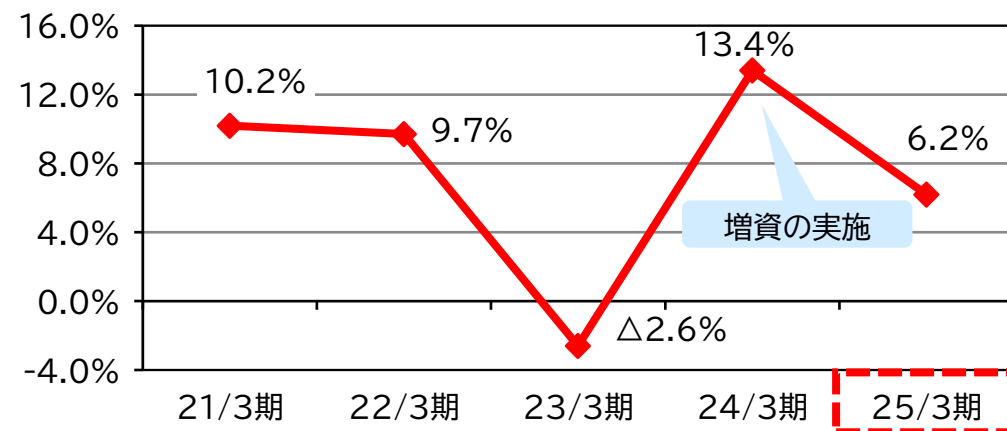
◆借入金の推移



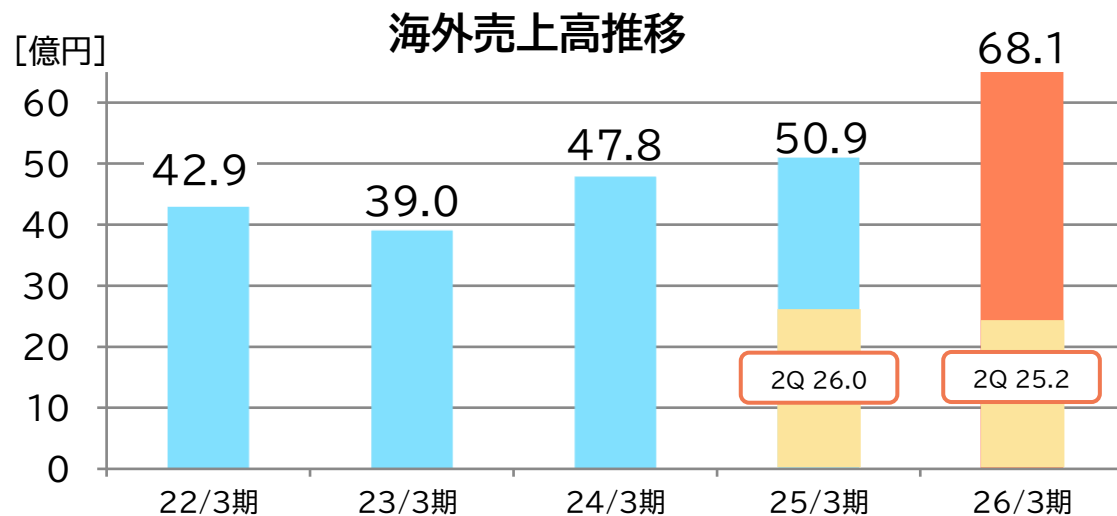
◆自己資本比率



◆自己資本当期純利益率(ROE)



国際展開



※現地法人売上＋当社から現地代理店への卸売合計

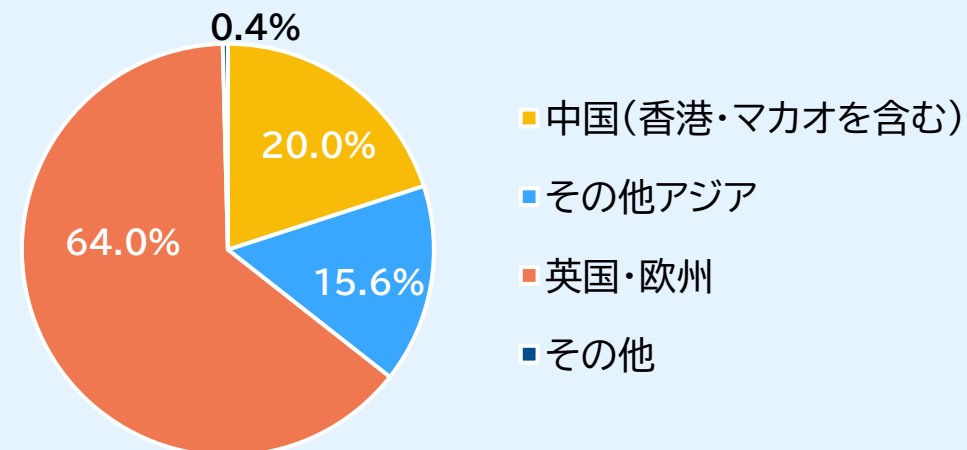
2025年8月 ベトナム・ハノイで開催されたGOMCCに参加

近視進行抑制をテーマにした東南アジア最大規模の学術会議であるGOMCC(第5回世界オルソケラトロジー近視制御会議)に参加しました。

シンポジウム1つ、ブートキャンプ2つ、ワークショップ2つの計5つのセッションを開催し、近視進行抑制に注力していることを世界各国の参加者に発信しました。



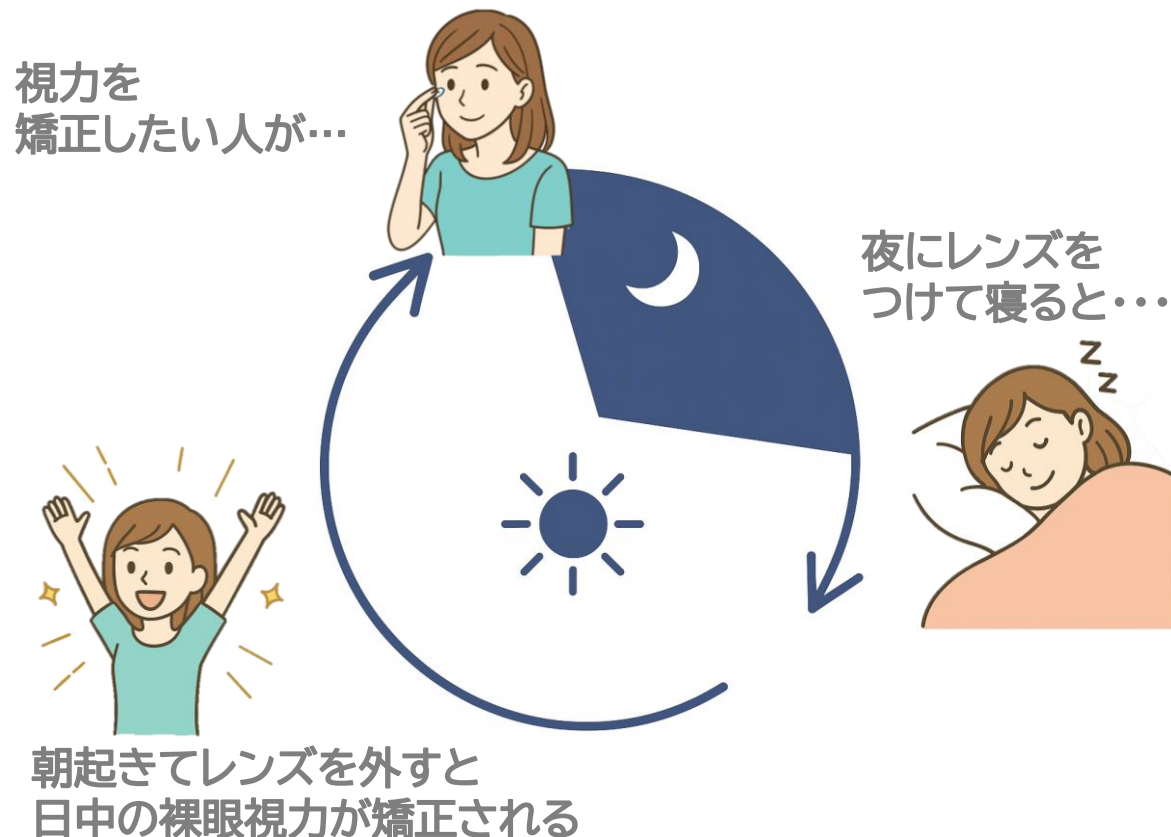
◆海外売上高構成比(2026年3月期第2四半期)



オルソケラトロジーレンズ

寝ている間に視力矯正ができる
オルソケラトロジーレンズ

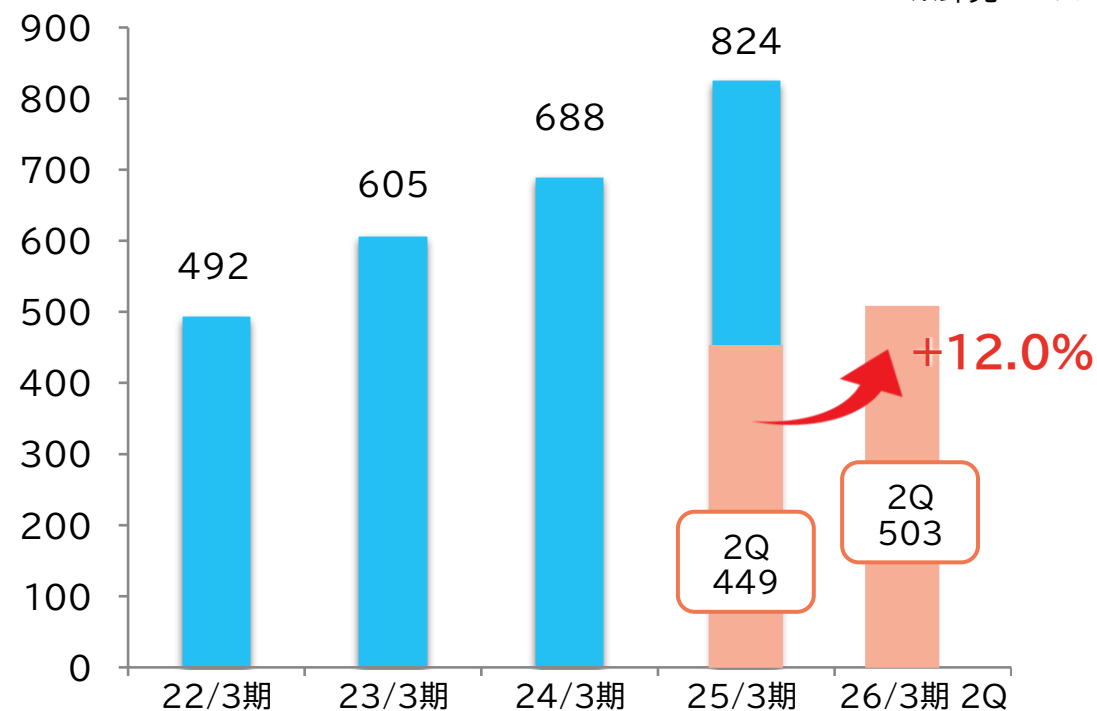
寝る時にレンズを装用することで角膜形状を変化させ、起床後にレンズを外して
日中は裸眼で過ごすことができる治療法



【百万円】
百万円未満切捨て

オルソケラトロジーレンズ売上

※定額制を含む
※卸売ベース



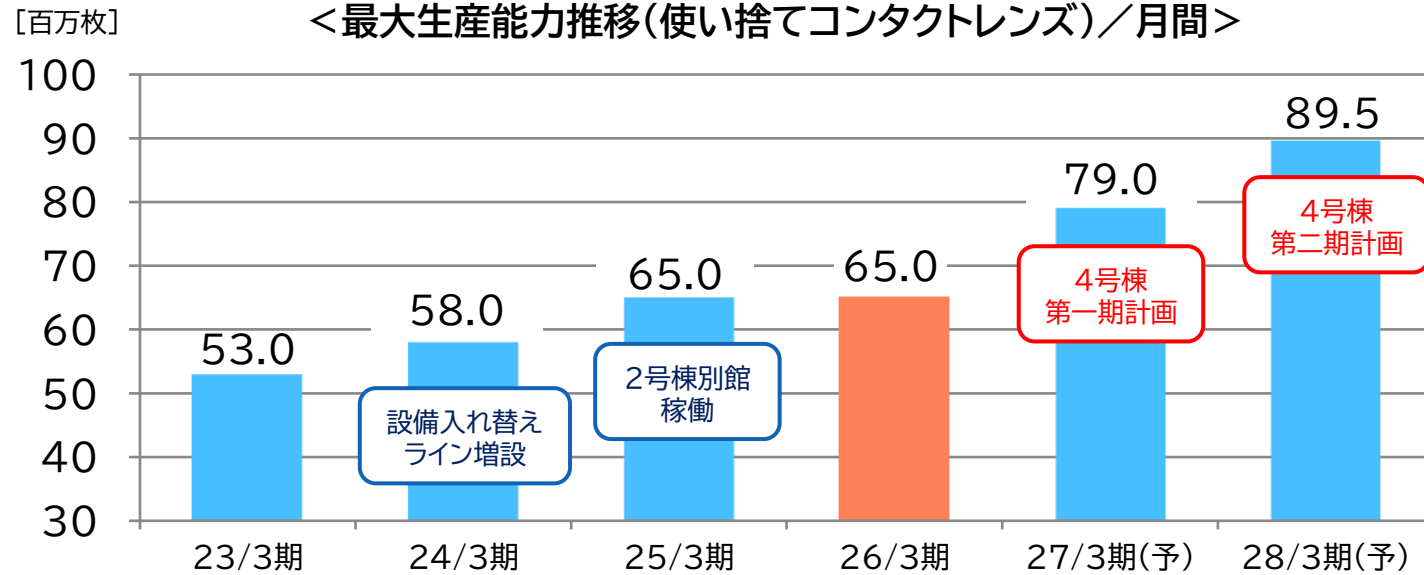
国内外の販売状況：日本、東南アジア、香港、インド／ 欧州(Wöhlk社製品を販売)

目次

1. 2026年3月期第2四半期 決算概要
2. 2026年3月期第2四半期 トピックス
3. 参考資料

2026年3月期第2四半期トピックス 鴻巣研究所生産力の増強 1/2

4号棟第二期の完成により、年間最大生産能力は【10億74百万枚】



鴻巣研究所全体の鳥瞰図

時期	計画内容	最大生産能力／月間※	進捗状況
2027年3月期	4号棟 第一期	6,500万枚 →7,900万枚	着工:2024年11月 竣工予定:2026年1月 2026年3月より順次稼働予定
2028年3月期	4号棟 第二期	7,900万枚 →8,950万枚	着工:2026年7月 2027年4月より順次稼働予定

※ 使い捨てコンタクトレンズ相当生産数

2026年3月期第2四半期トピックス 鴻巣研究所生産力の増強 2/2

【鴻巣研究所4号棟】 2026年1月竣工に向けて順調に建設中



2026年3月期第2四半期トピックス 「大規模成長投資補助金」交付決定のお知らせ

中堅・中小企業の賃上げに向けた省力化等の大規模成長投資補助金の交付が決定



中堅・中小企業の賃上げに向けた
省力化等の大規模成長投資補助金とは

経済産業省が実施する補助制度となり、地域の雇用を支える中堅・中小企業が、足元の人手不足等の課題に対応し、成長していくことを目指して行う大規模投資を促進することで、地方における持続的な賃上げを実現することを目的としています。

※中堅・中小成長投資補助金ウェブサイトより
<https://seichotoushi-hojo.jp/>

経済産業省が実施する「中堅・中小企業の賃上げに向けた省力化等の大規模成長投資補助金」において、「新素材コンタクトレンズを含めた生産能力拡張によるマーケットシェア拡大計画」が採択され、交付金額が決定しました。

補助事業の名称	中堅・中小企業の賃上げに向けた省力化等の大規模成長投資補助金
申請事業者	株式会社シード
補助事業に要する経費	12,708,545,919円
補助対象経費	12,248,455,879円
補助金の上限額	最大で4,082,818,625円
対象事業	新素材コンタクトレンズを含めた生産能力拡張によるマーケットシェア拡大計画

※実際の交付額は、補助事業実施期間における投資結果や資金充当の方法、補助対象事業完了後の検査等の結果により、変動する可能性があります。

【目標賃上げ率について】

補助事業実施期間の終了時点を含む事業年度である2028年3月期から事業計画期間終了年度である2031年3月期までの間、1人当たり給与支給総額について以下の通り増加させることを表明します。

- ・補助事業に関わる従業員:5.50%増加
- ・補助事業に関わる役員 :5.00%増加

2026年3月期第2四半期トピックス 統合報告書の公開

2025年10月1日【統合報告書 -SEED Report 2025-】を当社Webサイト上に公開



当社は2021年より、株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまに、当社グループへの理解を深めていただくことを目的として統合報告書を発行しています。

当報告書は、新社長インタビューをはじめ、2025年3月期に策定したパーパスの紹介、2027年3月期を最終ターゲットとした中期経営計画(2024年4月～2027年3月)の1年目である2025年3月期の進捗や、成長戦略特集として世界市場を見据えた生産能力の抜本的な向上、スマートコンタクトレンズ製造のための先進的オープンソース・プラットフォーム公開についての紹介、サステナビリティに関するマテリアリティについても説明しています。



2026年3月期第2四半期 今後の成長に向けた取り組み

Personalization



お客さま一人ひとりに合わせた製品の開発
乱視遠近、カスタムオルソ・スクレラルレンズ
(Scotlens)



シリコンハイドロゲルレンズ

シリコンハイドロゲルレンズの開発



国内産初の使い捨てレンズ



遠近両用



乱視用



スマホ眼用

スペシャリティレンズの開発



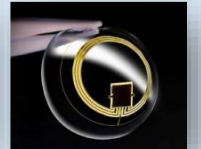
近視進行抑制

近視進行抑制分野の用途拡大を目指した治験を実施
(シード1dayPure EDOF・オルソケラトロジー)



シリコンハイドロゲルレンズの開発

次世代の高酸素透過レンズ開発、治験終了
早期上市に向けて準備中



スマートコンタクトレンズの開発

- ・トリガーフィッシュに続く、新たなデバイスを内蔵したスマートコンタクトレンズの開発
- ・革新的情報通信技術(Beyond 5G(6G))のNICT事業に採択
- ・コンタクトレンズへの電子部品等実装技術の標準化および、大規模集積回路開発に成功、プラットフォーム公開、当社ホームページにて特設サイト開設



新分野への進出

内視鏡フード、リング状デバイス等のコンタクトレンズの
技術を生かした新たな分野への進出

次世代商品の開発

中期経営計画(2024年4月～2027年3月)

2024年1月12日開示 3ヶ年中期経営計画

2025年5月20日開示 進捗状況と今後の重点課題更新

【中期経営計画の位置付け】

- 連結売上高500億円を達成し、世界のコンタクトレンズ市場でプレゼンスを発揮するための生産基盤の確保
(売上・業容拡大の足枷となっている商品供給力の不足を補うため、積極的な設備投資を行い、世界に伍する生産能力の整備を行う)
- 省人化生産を実現し、競争力を維持できる生産体制の構築
- 更なる品質の向上をすすめ、安心安全を追求
- コーポレートブランドの再構築による企業価値の向上
- 環境経営の推進
- 人的資源の強化を通じた事業基盤の整備

生産力を抜本的に改善する3年間となっており、大幅な収益改善は4号棟完成(2027年3月期)以降となります。2号棟別館の稼動や歩留まりの着実な改善等による生産力のアップにて収益力の改善にとどまりますが、将来の成長に対するコストをこの期間にかけることにより、中長期的な当社の成長へと繋がります。

2026年3月期見通し

連結

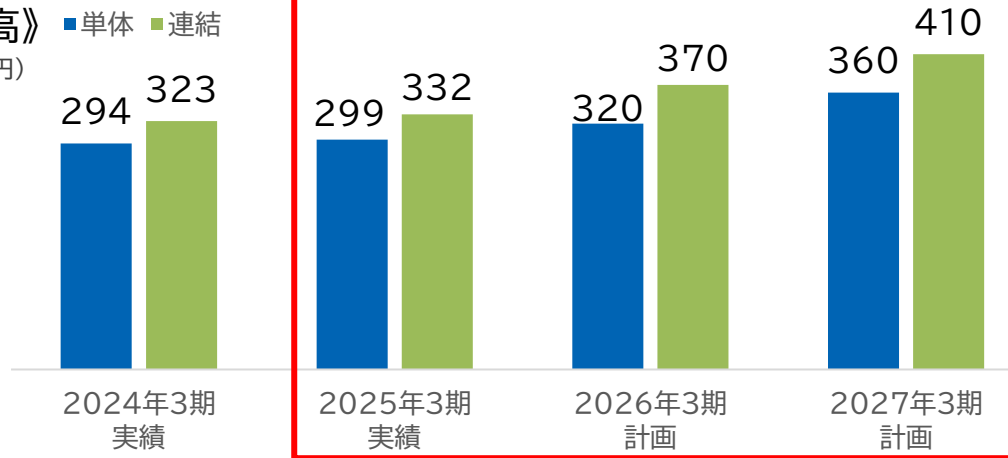
[百万円]
百万円未満切捨て

	2025年3月期	2026年3月期見通し	<参考> 前期比較	
			増減額	増減率
売上高	33,231	37,000	+3,769	+11.3%
営業利益	1,562	2,000	+438	+28.0%
(営業利益率)	4.7%	5.4%		—
経常利益	1,333	1,600	+267	+20.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,092	1,100	+8	+0.7%

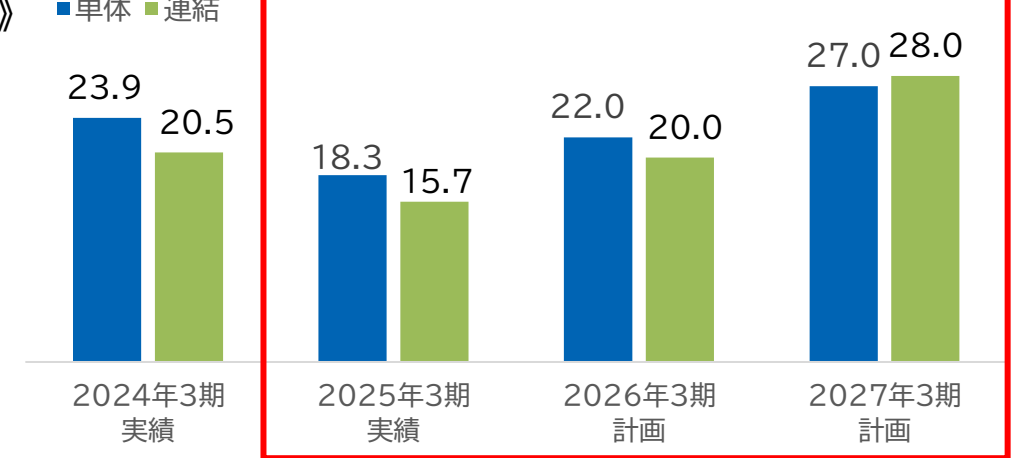
- 「シード1dayPureシリーズ」を中心として、乱視用や遠近両用コンタクトレンズ等のスペシャリティレンズの拡販に注力
- 乱視用と一部の遠近両用コンタクトレンズにおいて発生していた長期間にわたる納期遅延の影響で流出した顧客の回帰に加え、新規顧客獲得に向けた積極的な営業戦略を推し進める

中期経営計画(2024年4月～2027年3月)財務目標

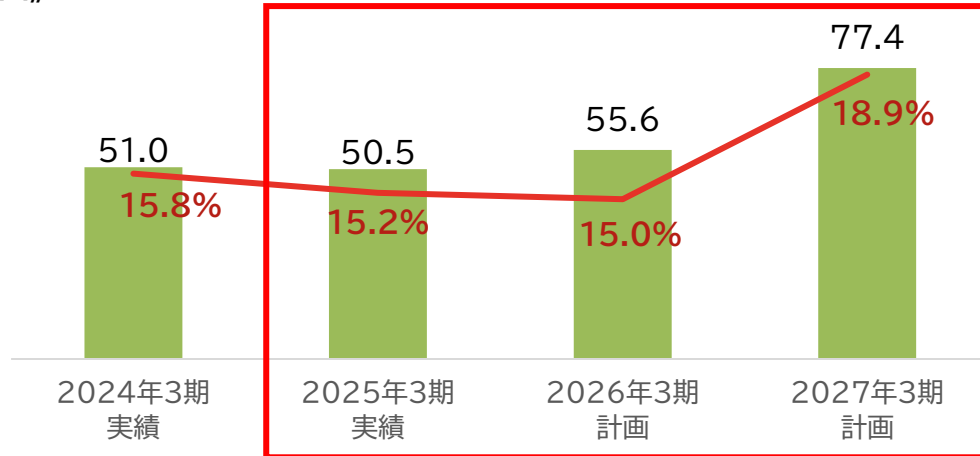
《売上高》 ■単体 ■連結
(単位:億円)



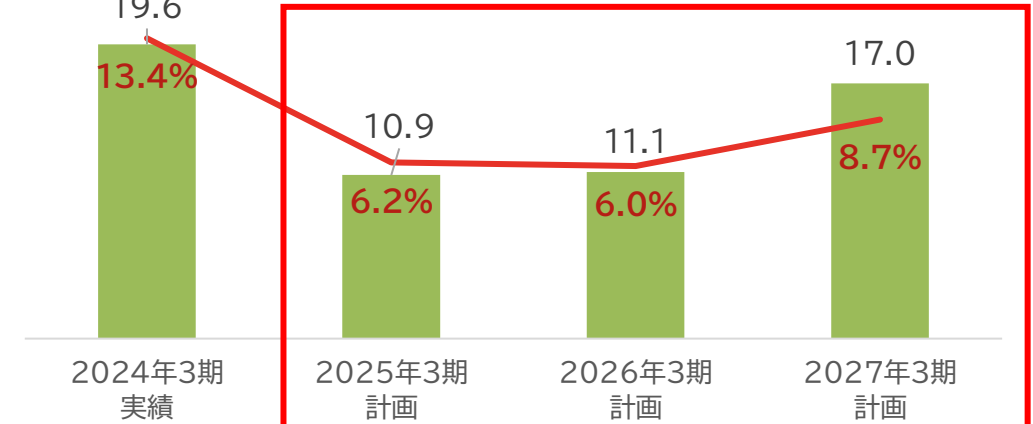
《営業利益》 ■単体 ■連結
(単位:億円)



《EBITDA》 ■EBITDA ■EBITDAマージン
(単位:億円)



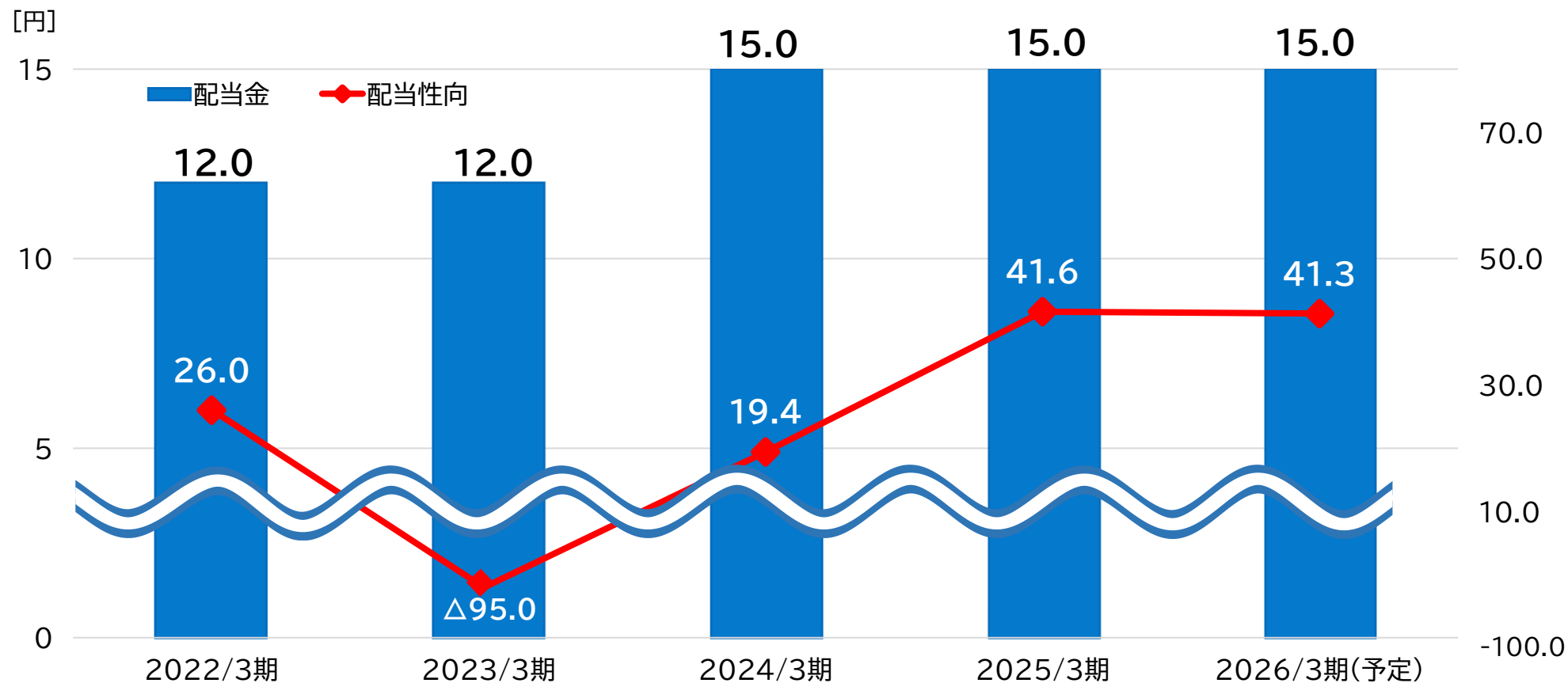
《ROE》 ■親会社に帰属する当期純利益 ■ROE
(単位:億円)



- 2027年3月期は連結売上高 410億円とし、連結売上高 500億円を達成するための足場固めを行う
- 利益構造の改善を継続し、営業利益ベースでの増益を継続する
- キャッシュ創出力を強化し、EBITDA 77.4億円を目指す
- 利益効率を高め、ROE 8.7%(2027年3月期)を目指す

株主還元

適切な配当施策の実施のため、配当性向30～40%を目標とした配当の継続を目指す



今後の成長戦略と、株主への安定的な利益還元を継続していくこと等を総合的に勘案

1株あたり年間配当金額
1株につき **15円**

配当利回り: 2.8%
※2025年9月30日 株価(終値)534 円

目次

1. 2026年3月期第2四半期 決算概要
2. 2026年3月期第2四半期 トピックス
3. 参考資料

参考資料:会社概要

本社	東京都文京区本郷2-40-2
設立	1957年10月9日(昭和32年)
上場	1989年12月(平成元年12月)
証券コード	7743 東京証券取引所プライム市場
資本金	3,532百万円
従業員	1,396名(連結) ※2025年3月末現在、アルバイト・契約社員を含む
営業所	8(札幌・東京・名古屋・大阪・福岡 他)、その他駐在11 (新潟・静岡 他)※2025年3月末現在
工場・研究所	研究所:シード鴻巣研究所(埼玉県鴻巣市)



「東京コンタクトレンズ研究所」当時の社屋



シード本社ビル



鴻巣研究所



保育・児童施設 ふくろうの森

1957年10月 会社設立 商号「株東京コンタクトレンズ研究所」
 1985年11月 ブランド名をマイコンから「シード(SEED)」に変更
 1987年 2月 商号変更「株シード」
 1989年12月 社団法人日本証券業協会に株式の店頭登録
 2007年 7月 鴻巣研究所を竣工
 2011年 1月 鴻巣研究所 ISO13485取得、CEマーキング指令適合
 2014年 3月 東京証券取引所市場第二部に市場変更
 2014年 8月 鴻巣研究所2号棟竣工
 2016年 6月 研究棟竣工
 2017年 3月 東京証券取引所市場第一部に指定

2017年 9月 鴻巣研究所3号棟竣工
 2018年 4月 保育・児童施設 ふくろうの森 開園
 2020年11月 鴻巣研究所 製品・資材倉庫棟 新設
 2021年 5月 株式会社ユニバーサルビュー合併
 2022年 4月 東京証券取引所プライム市場へ移行
 2024年 4月 シード鴻巣研究所2号棟別館竣工
 2024年 5月 シード本社ビル竣工
 2024年10月 新コーポレートロゴ・パーパスを発表

まだみぬ、世界は、美しい



新コーポレートロゴ・パーパス

参考資料:取扱商品

コンタクトレンズ事業

1day・2weekからハードコンタクトレンズまで、広範囲の製品展開で細分化するニーズに
きめ細かく対応しています

■国産 シードPureシリーズ



シード1dayPure
うるおいプラス

乱視用



シード2weekPure
うるおいプラス

乱視用



シード1dayPure
View Support

遠近両用



シード1dayPure
EDOF

遠近両用



シード1dayPure
うるおいプラス乱視用



シード2weekPure
うるおいプラス乱視用



シード1dayPure
マルチステージ



シード2weekPure
マルチステージ

Made in
Nippon



■特殊レンズ



シード 虹彩付ソフト
ユーソフト

■従来型コンタクトレンズ



ハードコンタクトレンズ
全6種7品



ソフトコンタクトレンズ
全3種

■オルソケラトロジーレンズ



ブレスオーコレクト

■シリコンハイドロゲルレンズ

シリコンハイドロゲルレンズ



シード1daySilfa



参考資料:取扱商品

■サークルレンズ



シード Eye coffret 1day UV M

スマホ眼用



シード Eye coffret 1day UV M View Support

乱視用



シード Eye coffret 1day UV M TORIC

遠近両用



シード Eye coffret 1day UV M Multistage

■カラーレンズ



ヒロインメイク 1day UV M



ベルミー

■シリコンハイドロゲルレンズ

シリコンハイドロゲルレンズ



シード AirGrade 1day UV W-Moisture



シード AirGrade 2week UV W-Moisture



シード1dayFine UV plus



シード2weekFine UV plus

乱視用



シード2weekFine UV plus TORIC



シードMonthlyFine UV plus

■シードFineシリーズ

コンタクトレンズケア用品事業

コンタクトレンズを快適にお使いいただくためのケア用品を各種提供しています



コレクトクリーン
オルソセラトロジーレンズ(ブレスオーコレクト)
酸素透過性ハードコンタクトレンズ用 タンパク洗浄液



フォレストリーフ うるおいW
ソフトコンタクトレンズ用消毒剤



ピュアティモイスト
酸素透過性ハードコンタクトレンズ用
酵素洗浄保存液



ジェルクリンW
酸素透過性ハード・
ソフトコンタクトレンズ用洗浄液

多様な人材の確保

■働きやすい職場づくり

- ・企業主導型保育園の開園
- ・在宅勤務制度
- ・フレックスタイム制
- ・育児短時間勤務の拡大(小6まで)
- ・男性育休制度の推進
- ・病児保育料補助手当の支給
- ・奨学金返還支援制度の導入

■ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進

- ・外国籍社員雇用
- ・越境在宅勤務制度の採用
- ・パートナーシップ制度祝金等のLGBTQ支援制度策定

■障がい者雇用の推進

「障害者就労施設プレミアムパートナー企業」として認定

災害対策

■自然災害、人災損害による被害の極少化への取組み

- ・BCPの恒常的な推進
- ・物流拠点の分散化
- ・災害初動対応マニュアル・事業継続活動マニュアルの作成
- ・災害時における安否確認システムの導入
- ・各事業所や全社用車への防災備品設置
- ・企業主導型保育園との防災連携
- ・災害時における一斉帰宅抑制の推進
 - ＊東京都一斉帰宅抑制推進企業に認定
- ・シードと文京区が連携し「災害時における行政手続の活動支援に関する協定」を締結

■「eye×防災」の啓発

- ・災害に対する事前の備えとして、日頃から気をつけておきたい目の防災に関する啓発を実施

参考資料:サステナビリティ

地域・社会の課題解決に向けた取り組み

■行政との連携

- ・埼玉県鴻巣市包括協定締結
- ▶ブリスター回収活動における覚書締結(2024年4月)
- ・「BLUE SEED PROJECT」協定書締結
- ▶埼玉県三芳町・吉見町

■「SEED Projects Of Road To Sports」の活動

- ・埼玉西武ライオンズと協力し、「SEED Presentsスターティングキッズ」の企画協賛
- ・ラグビーチーム「ヤクルトレビンス戸田」へコンタクトレンズの提供
- ・プロサッカークラブ「FC今治」への協賛、所属選手へのコンタクトレンズの提供

■出前授業の実施

- ・教育機関(小・中・高・大学他)への出前授業

■積極的な地域活動への参加

- ・子ども向け地域イベントの参加、理科実験教室開催

■芙蓉・女子美Venusファンドに賛同、展示場所を提供



環境への取り組み



■環境マネジメントシステムの構築

- ・カーボンニュートラル推進
- ・プラスチックリサイクル推進

■本社建設資金についてグリーンローン調達を実施

■エネルギー利用環境負荷低減事業適応計画の認定取得

太陽光発電、エネルギー管理システム構築、水資源の再利用

■「シード1dayPureうるおいプラス96枚パック」 パッケージリニューアル

包装資材使用量の大幅カットで温室効果ガス排出量を削減

■「シードエコロジーマーク」の策定

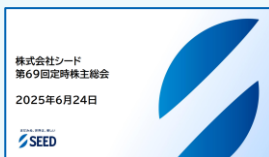
■サーキュラーエコノミーシステムの構築

- ・BLUE SEED PROJECTによるブリスター回収・再資源化
- 【協力施設状況】
眼科・販売店(関連子会社を含む):1,122施設/
企業:53社/学校:11校/行政3市町村
(2025年10月20日現在)



参考資料:当社に関する情報を公式ホームページやYouTubeで発信

当社HP



- ・決算説明会資料
- ・株主総会資料
- ・中期経営計画説明会資料
- ・IRレポート
- ・統合報告書
- ・有価証券報告書
- ・コーポレートガバナンス報告書 等

当社YouTubeチャンネル

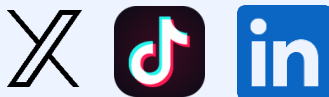


- ・決算説明会
- ・株主総会
- ・中期経営説明会
- ・その他IR情報 等

その他SNS

シード公式

- ・TVCM
- ・製品説明動画
- ・決算説明会、株主総会、IRイベント
- ・IR動画
- ・CSR活動(理科実験教室)
- ・イベントの告知



【商品アカウント】

シード1dayPure View Support

シード Eye coffret 1day UV M

ベルミー



その他

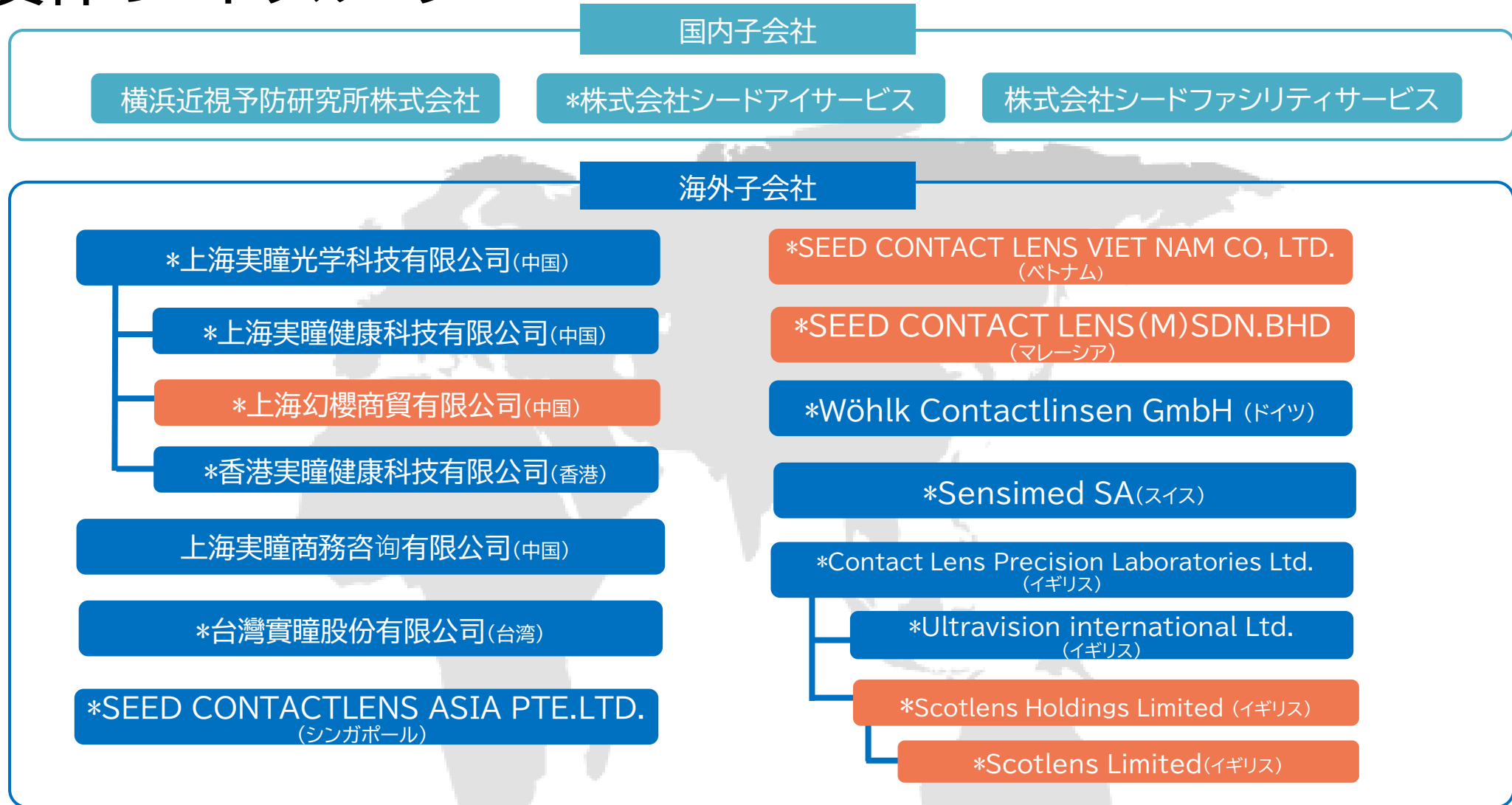
企業と個人株主・投資家をつなぐ



2022年6月20日(月)より、個人株主・投資家向けサービス「Sharebee」にてIRに関する情報・重要連絡をHPのIRサイトの掲載に加えて配信しております。

<https://sharebee.jp/>

参考資料:シードグループ



- ・Scotlens Holdings LimitedおよびScotlens Limitedは4月にContact Lens Precision Laboratories Ltd.の子会社となっております
- ・上海幻櫻商貿有限公司は出資比率の見直しにより6月に上海実瞳光学科技有限公司の100%子会社となっております
- ・SEED CONTACT LENS(M)SDN.BHD・SEED CONTACT LENS VIET NAM CO, LTD.: 4月より連結対象範囲となっております
- ・SEED Contact Lens Europe GmbHは5月に清算手続きが完了し消滅したため、除外しております

※2025年10月末現在

*:連結子会社

まだみぬ、世界は、美しい



本資料に関するお問い合わせ

株式会社シード 経営企画部

TEL 03-3813-1650

またはホームページお問い合わせフォーム

<https://www.seed.co.jp/contact/>

当資料の見込みに関しては、現時点において入手可能な情報及び当社の計画・戦略に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の経済情勢・業界動向等、様々な要因により異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

本資料の見通しや目標数値等に全面的に依存しての投資判断により生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。